



# エコ・ファーストの約束

環境先進企業としての地球環境保全の取り組み

令和5年4月5日

環境大臣 **西村 明宏** 殿

YKK AP株式会社  
代表取締役社長

**魚津 彰**

YKK AP は、次世代に対してより良い社会・環境をつくるために  
技術革新による新しい価値の創造、環境負荷ゼロに挑戦します

## 1. 2050年カーボンニュートラルに向け、 事業活動の全工程で温室効果ガス削減や気候変動への適応に取り組む

- 温室効果ガス削減に寄与する商品や気候変動対策商品を積極的に開発、拡販するとともに、家庭・オフィスビル等の民生部門における高断熱窓の普及によるCO<sub>2</sub>削減貢献量を、2024年度までに2020年度比1.5倍を目指します。
- 効率的なエネルギー使用と再生可能エネルギーの導入を推進することで、事業活動による自社からのCO<sub>2</sub>排出量（Scope1+2）を2030年度までに2013年度比50%削減するとともに、温室効果ガス排出量2050年実質ゼロを目指します。その達成に向けて、2021年に「カーボンニュートラルプロジェクト」を発足し、「省エネ設備」「プロセス転換」「創エネ」「再エネ調達」「物流」「商品・材料」の各テーマでカーボンニュートラル技術ロードマップを策定しました。特に、「創エネ」では、自社敷地内への自家消費型再生可能エネルギーの導入を推進していきます。
- アルミ再生地金・市中リサイクル材の利用率を高めるとともに、物流の効率化や生産性向上に向けての取り組みをさらに推進し、サプライチェーンCO<sub>2</sub>排出量（Scope3）を2030年度までに2013年度比30%削減を目指します。
- TCFDへの賛同やSBT認定の取得、エコリーフなど第三者認証の取得を通じて、気候変動への取り組みや情報を積極的に開示し、ステークホルダーとのコミュニケーションを図ります。

## 2. 商品のライフサイクルを通じ廃棄物発生を抑制するべく、 サーキュラーエコノミーの概念を取り入れ持続可能な資源の利用を進める

- 樹脂窓の製造工程で発生する端材について、再び樹脂材へ再生させるとともに、新規用途の開発を積極的に行い、2028年度までに、社内リサイクル率100%を目指します。
- アルミ・樹脂の社外リサイクルについて、市中のアルミのリサイクル化を加速するとともに、産官学連携で市中の樹脂窓を回収・リサイクルするシステムの構築に向けて取り組みます。
- 事業活動における廃棄物排出量の最小化に向け、分別の徹底と有価物化を進め、2024年度までに国内・海外製造拠点の廃棄物32%削減を目指します。また、廃棄物のリサイクルについて、2024年までに、国内・海外製造拠点のリサイクル率99%以上を目指します。
- 商品輸送時の包装資材の削減に向けて、環境負荷の少ない適正な包装形態となるよう改善に取り組みます。
- ペーパーレスや廃棄物の削減など、事務所内（オフィス）での社員一人一人の取組の実践を推進します。





# エコ・ファーストの約束

環境先進企業としての地球環境保全の取り組み

## 3. 自然との共生に向け、事業活動に伴う大気への 排出物質の抑制・持続的な水利用の実現に取り組む

- 拠点ごとの取水に関わるリスクの把握や排水の自主管理基準の強化を進めます。
- 水の循環利用推進により、水使用量を2024年度までに2021年度比24%削減を目指します。
- 大気汚染物質について、自主管理基準を設けて低排出量の維持に努めるとともに、排出状況に関する情報を公開します。また、国内工場の化学物質の使用量および排出・移動量を把握し、削減に向け取り組みます。

## 4. 事業活動の中で、生物多様性へプラスとなる取り組みを進めるとともに マイナスとなる影響を可能な限り小さくすることで、持続可能な社会づくりへ貢献する

- 2024年度末までに材料、部材、部品の六価クロムフリー化100%を目指します。
- 国内・海外の全拠点において、工場や周辺地域の緑化、環境保全活動に積極的に取り組み、拠点ごとに年間2件以上実施することを目指します。

## 5. さまざまな環境教育や意識啓発を通じ、次代を担う環境人材の育成に取り組む

- 従業員への環境自覚教育や全員参加型環境アクションを通じて、従業員の意識啓発を図るとともに、環境保全活動の主体的な実践を促進します。
- 子どもたちへの環境教育やボランティア活動を通じて、環境を守ることの大切さを伝えるとともに、持続可能な社会の担い手の育成に貢献します。

## 6. 「商品」と「モノづくり」を通じ持続可能な社会づくりに貢献すべく 地球環境負荷低減に関わる取り組みに対し、積極的な投資を進める

- 環境活動に投入する費用を明確化し、環境経営判断に活用することで、環境配慮型商品の開発、CO<sub>2</sub>削減やリサイクルなどの環境に関わる技術・研究等への取り組みに対して投資を促進します。

## 7. トップマネジメントによるグローバルな環境経営の強化に取り組む

- 環境マネジメントシステムを継続的に改善しながら、ライフサイクルの全ての段階で環境価値を創出するとともに、環境負荷ゼロに向けたグローバルな環境負荷低減活動を実践します。

YKK AP株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

